AMY-ｱｲｿｻﾞｲﾑ[尿]	21000
	担当部署
U-AMY ｱｲｿ	一般

検査オーダー

患者同意に関する要求事項		特記事項なし
オーダリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*5.尿・便・その他→
	2	
	3	
	4	
	5	
検査に影響する臨床情報		マクロアミラーゼ血症では、アミラーゼの免疫複合体形成により血中アミラーゼ上昇、尿中アミラーゼ減少がみられる。 膵刺激ホルモンや、ステロイドの大量投与は P-AMY を上昇させる。また長期間の大量飲酒は P-AMY と S-AMY いずれも上昇させる。
検査受付時間		8：15～16：00

検体採取・搬送・保存

患者の事前準備事項	該当なし
検体採取の特別なタイミング	特記事項なし

検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	新鮮尿	２３スピッツ	なし	10	mL
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

検体搬送条件	室温
検体受入不可基準	1）血液など異物の汚染がひどい尿 2）バーコードのない検体 3）量不足 4）材料違いの検体
保管検体の保存期間	凍結保存 14 日（追加検査については検査室に要問合せ）

検査結果・報告

検査室の所在地	病院棟 3 階　中央検査部
測定時間	1～7 日
生物学的基準範囲	該当なし
臨床判断値	該当なし

基準値				単位	%
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし

パニック値	高値	該当なし
	低値	該当なし
生理的変動要因		特記事項なし
臨床的意義		血中、尿中そのほかの体液中のアミラーゼ活性の上昇は、膵臓疾患以外にもみられる場合がかなりあり、その由来臓器の鑑別にアイソザイム分析が有用である。体液中のアミラーゼは、電気泳動による分離と酵素染色によって、プレ γ 位に移動し唾液アミラーゼの主成分と同じ移動度をもつ活性帯、ファースト γ 位に移動し、膵液アミラーゼの主成分と同じ移動の活性帯に分離されるが、これらの活性帯の由来臓器が各疾患や病態で明確に決定できない場合があるので、前者をＳ型、後者をＰ型とした。これらのほかにＳ，Ｐそれぞれのサブバンドがみられる場合がある。